

# 平成20年度 当初予算

## 住み良い村づくりを目指して

### 一般会計総額 39億6,600万円

#### 「一般会計歳入」

歳入面では固定資産税収入を約二十三億八千万円計上しております。現在はこの大きな収入により、上野村は普通交付税の不交付団体になっております。しかしこの収入も、昨年度当初と比べて約二億円程度減少と見込んでおり、今後も毎年大きく減少していくものと予想されます。

今年度予定している小学校建設や福祉施設建設といった大きな事業については、その財源として国庫支出金も見込んでいるため、この収入は昨年度より増加しています。県支出金については補助率等の低下などもあり縮小傾向にあります。又、建設事業等については村債も利用しており、今年度は大きな事業も予定されていることから昨年度に比べ増加しております。

グラフで歳入(ア)を見ると、国県支出金などの依存財源が30・2%で昨年度から約10%増加、村独自の財源である自主財源は69・8%となっております。昨年度から約10%減少しております。

#### 「一般会計歳出」

歳出については、目的別と性質別と二つのグラフで表しております。

目的別とは、文字どおり施策の目的により区分するもので、予算書等もこれらの区分により作成されています。

性質別とは人件費や普通建設事業費といった支出の性質により区分するものです。

今年度の主な事業は別記のとおりですが、普通建設事業費は19年度に比べ四億五千万円の増額となっております。

また、義務的経費と投資的経費という区分がありますが、義務的経費とは、人件費や公債費などのように、その支出が義務づけられているものであり、これらの経費の割合が大きいのといろいろな事業に廻す財源が足りなくなり、財政運営上は好ましくありません。上野村においては、日当の廃止など人件費の削減、事務の合理化や創意工夫をし、常に経常経費の抑制を図っております。



